

# NSW

この国の未来を、IoTで変えていく。



株主通信

## 第53期 中間報告書

2018年4月1日 → 2018年9月30日

日本システムウェア株式会社

証券コード：9739

# Top Message

ごあいさつ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

第53期第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）の業績についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな回復基調を維持しつつも、自然災害が経済に与える影響や貿易摩擦による世界経済の不確実性などにより、先行き不透明な状況で推移しております。

情報サービス産業界におきましては、企業のIT投資は堅調に推移しており、デジタルトランスフォーメーションの実現を加速するIoT、ビッグデータ、AIの活用拡大をはじめ、働き方改革の推進と人手不足を補うと期待されるRPA (Robotic Process Automation) など新たな分野への展開が本格化しております。

このような状況の下、当社グループは、中期経営計画において事業変革を加速する「DriveInnovation」をスローガンに掲げ、「IoT分野の事業拡大」、「コア事業の顧客基盤強化と高付加価値化」に取り組んでおります。NSWグループの総合力と技術融合により、お客様のビジネスにイノベーションをもたらす価値創造パートナーとして持続的成長を遂げる企業を目指しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は173億97百万円（前年同四半期比4.2%増）、売上高は167億52百万円（同5.2%増）、営業利益は14億9百万円（同6.1%増）、経常利益は14億37百万円（同6.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億54百万円（同4.4%増）となりました。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2018年12月



代表取締役執行役員社長  
多田 尚二

# Business Segment Overview

## 連結部門別事業の概況

### ITソリューション

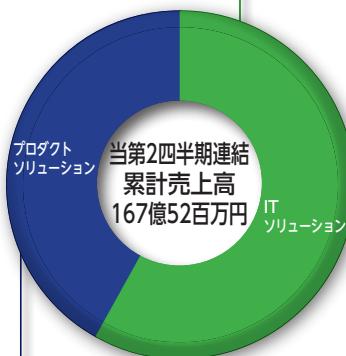
58.2%

売上高につきましては、ソリューション事業における各業種向けシステム開発案件の増加、ならびにIoT関連サービスの伸長により、増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増により、増益となりました。これらの結果、受注高は101億14百万円（前年同四半期比3.1%増）、売上高は97億45百万円（同5.8%増）、営業利益は4億92百万円（同10.7%増）となりました。

### プロダクトソリューション

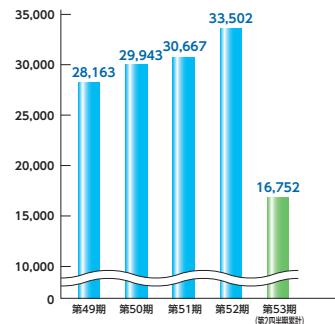
41.8%

売上高につきましては、デバイス開発事業の堅調な推移、ならびに組込みソフトウェア開発事業におけるオートモーティブ、設備機器分野の拡大により、増収となりました。利益につきましては、増収に伴う利益増により、増益となりました。これらの結果、受注高は72億83百万円（前年同四半期比5.6%増）、売上高は70億6百万円（同4.4%増）、営業利益は9億16百万円（同3.8%増）となりました。



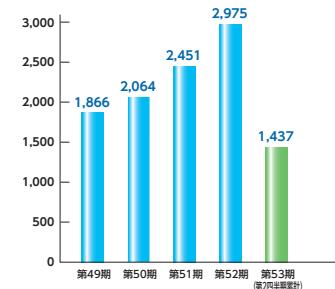
## 売上高

(単位：百万円)



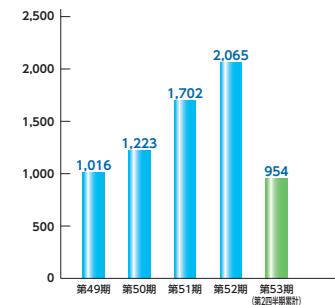
## 経常利益

(単位：百万円)



## 親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益

(単位：百万円)



# Financial Statements

## 連結財務諸表

### ■ 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 2018年9月30日現在	前連結会計年度末 2018年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>		
<b>流動資産</b>	<b>16,953</b>	<b>16,587</b>
現金及び預金	7,116	6,601
受取手形及び売掛金	8,032	8,919
商品	276	153
仕掛品	1,198	687
貯蔵品	2	2
その他	331	227
貸倒引当金	△5	△5
<b>固定資産</b>	<b>8,707</b>	<b>8,782</b>
有形固定資産	6,455	6,544
無形固定資産	142	156
投資その他の資産	2,109	2,080
<b>資産合計</b>	<b>25,661</b>	<b>25,369</b>
<b>[負債の部]</b>		
<b>流動負債</b>	<b>5,426</b>	<b>5,917</b>
<b>固定負債</b>	<b>2,192</b>	<b>2,138</b>
<b>負債合計</b>	<b>7,619</b>	<b>8,056</b>
<b>[純資産の部]</b>		
<b>株主資本</b>	<b>18,041</b>	<b>17,311</b>
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	86	86
利益剰余金	12,456	11,725
自己株式	△0	△0
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>0</b>	<b>1</b>
<b>純資産合計</b>	<b>18,042</b>	<b>17,312</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>25,661</b>	<b>25,369</b>

### POINT

#### ●総資産

総資産は、256億61百万円となり、前連結会計年度末比2億92百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加（5億15百万円）、仕掛品の増加（5億11百万円）及びその他流動資産に含まれる前払費用の増加（1億5百万円）があったものの、受取手形及び売掛金の減少（8億87百万円）があったことによるものです。

#### ●総負債

総負債は、76億19百万円となり、前連結会計年度末比4億37百万円の減少となりました。これは主に、買掛金の減少（2億10百万円）、未払消費税等の減少（1億25百万円）があったことによるものです。

#### ●純資産

純資産は、180億42百万円となり、前連結会計年度末比7億29百万円の増加となりました。

## ■ 四半期連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年9月30日まで
売上高	16,752	15,918
売上原価	13,746	13,058
売上総利益	3,005	2,860
販売費及び一般管理費	1,595	1,532
営業利益	1,409	1,327
営業外収益	28	18
営業外費用	1	2
経常利益	1,437	1,343
特別損失	1	0
税金等調整前四半期純利益	1,435	1,343
法人税、住民税及び事業税	440	328
過年度法人税等	11	—
法人税等調整額	28	101
親会社株主に帰属する四半期純利益	954	913

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 2018年4月1日から 2018年9月30日まで	前第2四半期連結累計期間 2017年4月1日から 2017年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	979	1,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229	△149
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	515	874
現金及び現金同等物の期首残高	6,593	4,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,108	5,726

## POINT

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、9億79百万円(前年同四半期比1億31百万円の収入の減少)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益14億35百万円に対し売上債権の減少額8億87百万円、たな卸資産の増加額6億34百万円及び仕入債務の減少額2億10百万円があったことに加え、法人税等の支払額5億12百万円があったためであります。

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、2億31百万円(前年同四半期比1億45百万円の支出の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出80百万円、無形固定資産の取得による支出40百万円、敷金及び保証金の差入による支出35百万円によるものであります。

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、2億29百万円(前年同四半期比80百万円の支出の増加)となりました。これは主に、配当金の支払額2億22百万円によるものであります。

### 英Arm社とArm Approved Design Partner契約を締結

当社は、9月27日に英Arm社と、日本企業では1社目となるArm® Approved Design Partner契約を締結しました。Armは、世界有数の半導体設計企業です。低消費電力で処理能力が高い設計に定評があり、モバイル向けではシェア90%を確立しており、スマートフォンやタブレットのほかIoTや自動車などの分野でもシェアを伸ばしています。

当社は2002年よりArm認定パートナーとしてArmプロセッサコアを使用したLSI・デバイス開発を行っており、2017年12月にはArm® Mbed™ Partnerに認定され、IoT環境でよりセキュアな通信を実現するためのソリューションを整備・拡充いたしました。

今回の契約により、当社はArmプロセッサIP、ツール、モデル群の使用が可能となり、ArmベースのSoC (System-on-a-chip) 開発において市場投入までの開発期間を短縮できるほか、セキュリティIPを搭載することで、より強固なセキュアシステムの提供も可能となります。今後もお客様の新たなデバイス開発サポートや付加価値向上の実現に努めてまいります。



### アドベンチャーレース国際大会に技術協賛

当社は6月に開催された「NISSAN X-TRAIL Adventure Race Japan in NAGANO 2018」の国際レース部門に、IoTプラットフォーム「Toami」を提供し、GPSトラッキングシステムによる選手の位置情報把握と安全管理の実証を行いました。アドベンチャーレースは大自然をフィールドに地図とコンパスのみを使い複数のアウトドア競技をこなしながら数日間ゴールを目指すチーム競技です。近年世界各国で実施されており、円滑な大会運営とともに選手の安全管理が第一に求められています。今回、「Toami」の活用により、大会運営側の安全管理はもとより、医療班やチームサポーターへの的確な情報提供に寄与することができました。今後も当社の技術力を生かした様々な取り組みで社会に貢献してまいります。

#### 【本大会の様様】



選手に防水対応GPSを装着



白馬村の大自然の中でレーススタート



優勝チーム「チームコロンビア・ヴィダレイド」



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
公告掲載URL	<a href="https://www.nsw.co.jp/ir/koukoku.html">https://www.nsw.co.jp/ir/koukoku.html</a> (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店および全国各支店でなっております。

## ホームページのご案内



当社ホームページでは、最新情報、業績情報などを掲載しているほか、アナリスト向け決算説明会の資料など、当社をご理解いただくための情報提供の充実に努めております。また、CSRへの取り組みについてもご案内をしていますので、どうぞご覧ください。当社は、今後も株主の皆さまへの積極的な情報発信に努めてまいります。

## 住所変更、単元未満株式の買取等の お申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行なう際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行なわれます。確定申告を行なう際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。



当社は個人情報管理の社内の仕組みの構築、実施、維持改善活動を行ない、個人情報を正確かつ安全に取り扱うことにより、社会の信頼に応えてまいります。



2007年より、当社は「両立支援（従業員の子育て支援）に積極的に取り組む企業」として、厚生労働大臣より、次世代育成支援対策推進法に基づく認定を継続して受けております。

[ ホームページ ] <https://www.nsw.co.jp/>

